

再評価個表

事業名	通常砂防事業	事業主体	愛媛県
施設・工区名等	うまこし (砂)馬越川	事業箇所	ほないちょうかわのいし 八幡浜市保内町川之石
事業主旨	<p>本溪流は、愛媛県八幡浜市保内町川之石に位置し、被害想定区域に人家 11 戸、県道八幡浜保内線が存在する土石流危険溪流(ランク I)である。</p> <p>溪流内には、不安定な土砂が残留しており、豪雨時には土石流が発生する恐れがあるため、砂防施設(砂防堰堤)を整備して土砂災害を未然防止するものである。</p>		
再評価の実施理由	「事業採択後 5 年が経過して継続中」の補助事業		

1. 地域の概要

<p>(砂)馬越川は、流域面積 0.12km²、平均河床勾配 1/1.5 と急勾配を呈す土石流危険溪流である。</p> <p>林相は、下流域の一部が果樹園として利用されるが大部分は雑木林である。地質は三波川帯の緑色片岩であり、表層はシルト交じり砂礫が広く分布する。</p> <p>下流の被害想定区域には、人家 11 戸、県道八幡浜保内線などが存在するが、本流域内には、土砂流出を防止するための砂防施設が整備されておらず、集中豪雨等による土砂災害の発生時には、保全対象に甚大な被害を生じる恐れがある。</p>

2. 事業概要及び事業経緯

事業採択	平成 29 年度 ※平成 31 年度より交付金事業 から補助事業へ移行	完成予定(注)	令和 7 年度(見込み)
用地着手	令和 2 年度	工事着手	令和 2 年度
全体事業費	291 百万円(うち用地費: 30 百万円)		
(1) 事業概要	砂防堰堤 1 基、溪流保全工 40m		
(2) 事業経緯	土砂災害警戒区域指定: 平成 28 年 3 月 事業採択: 平成 29 年度 砂防指定: 令和 2 年 12 月		

(注) 完成予定は、今後の予算の見通しや用地買収の進捗等の不確定要素があるため、現時点での見込みを示す

3. 事業の必要性及び整備効果等

(1)事業の必要性	<p>(砂)馬越川は、土石流危険溪流(ランクⅠ)であるが、現在は無施設(砂防施設)である。流域内には、不安定な土砂(2,675m³)、流木(55m³)が残留しており、集中豪雨時には土石流が発生する恐れがある。</p> <p>土砂災害警戒区域内には、人家11戸、県道206mなどがあり、これら保全施設の土石流による被害軽減を図るため砂防整備を継続し、土砂災害対策を進める必要がある。</p>
(2)事業の整備効果	<p>砂防施設を整備することで、年超過確率1/100の土石流に対して、人家11戸の人命と財産、県道206m、市道189mが保全される。</p>
(3)事業を巡る社会経済情勢等の変化	<p>本溪流では、地元からの砂防施設設置の要望が強く、地域の協力体制は整っている。砂防指定や用地買収についても完了している。</p>

4. 事業の進捗状況及び進捗の見込み

<p>(うち用地費) R4末投資事業費</p>	<p>(20百万円) [進捗率: 66.7%](事業費換算) 111百万円 [進捗率: 38.1%](事業費換算)</p>
(1)事業の進捗状況	<p>地元の協力体制は整っているものの、管理用道路の当初予定地が相続多数のため用地買収困難であること、このために管理用道路のルート変更の必要が生じたこと、さらには西日本豪雨によって被害が大きかった地域に復旧・復興事業として集中投資したことから、事業が遅延している状況である。なお、これらの遅延要因は令和4年度末で概ね解決している。</p>
(2)これまでの整備効果	<p>堰堤工は未着手であるため、整備効果は発現できていない。</p>
(3)今後の事業進捗の見込み	<p>事業進捗率は、令和4年度末において38%である。</p> <p>現在、管理用道路の施工は順調に進んでおり、令和5年度には全ての用地取得が完了見込みであることから、今後も堰堤工や溪流保全工等の工事を進め、令和7年度までに事業が完了する見込みである。</p>

